

中運交企第151号  
令和5年3月10日

東員町地域公共交通会議  
会長 小川 裕之 殿

中部運輸局長  
(公印省略)

令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いいたします。

【問合せ先】  
中部運輸局交通政策部 交通企画課  
TEL: 052-952-8006

自治体・協議会名	東員町地域公共交通会議
評価対象事業	地域内フィーダー系統

## 二次評価結果

### 評価できる取組

- ・オレンジバスの継続的な取組により南北方向の移動を定着させてきたことを大変評価します。
- ・「おでかけ元気パス」の取組について福祉部局と連携したことを評価します。
- ・オレンジバスの運賃改定等を実施するにあたり、町民へのアンケート調査やワークショップを実施するなどして町民生活への影響や運賃改定による利用控えが最小限になるよう務められたこと、収支率が増加したことを確認しました。
- ・補助を活用した取り組みで民間事業者と協力し、地元サッカーチームのラッピング電車を運行することにより、競技場のある東員駅の利用者数が増加したことを確認しました。

### 期待する取組

- ・収支率は向上しているものの、利用者数は減少している。収支率の改善だけを求めると、利便性が低下し、更に利用者数が減る懸念もあることから、収支率向上と利用者数の確保は両輪で取り組まれることを強く期待します。
- ・計画の各事業の実施時期が「令和〇年以降」といった書きぶりが多く、次回の見直しのタイミングでは実施期間を明確にすることを強く期待します。
- ・オレンジバスのルートやダイヤを見直すことにより利用者数の増加、収支率のさらなる改善、車両更新のための財政負担の軽減を期待します。
- ・北勢線の利用減少対策として、オレンジバスと北勢線の連携を強化するためのダイヤやルートの設定をするなどの視点も必要であり、今後の取組に強く期待します。